

愛されるために、ここにいる (2005)

JE NE SUIS PAS LA POUR ETRE AIME

メディア 映画
ジャンル ロマン스 ドラマ コメディ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 93分
初公開日 2006/12/16
公開情報 セテラ・インターナショナル

【キャッチコピー】
変わらない毎日。気づいたら一人ぼっち。
あの日、あのとき、君とタンゴに出会った。

【解説】
人生に疲れた中年男が、ふとしたことから通い始めたタンゴ教室で若い女性と出会い、互いに秘めた感情が昂揚していくさまを繊細なタッチで綴る静かな愛のドラマ。主演は「読書する女」のパトリック・シェネ、共演に「灯台守の恋」のアンヌ・コンシニ。監督はこれが長編2作目の新鋭ステファヌ・ブリゼ。
50歳を迎えたジャン＝クロードは、長年務めてきた裁判所の執行官という憎まれ仕事にも嫌気がさし、高齢の父や別れた妻との間の息子との関係にも問題を抱え、人生に疲れ果てていた。ある日、医者から運動を勧められたジャン＝クロードは、以前から気になっていたタンゴ教室に通ってみることに。彼はそこでタンゴを習う若い女性フランソワーズと出会う。やがてレッスンを通じて次第に打ち解け合い、互いの気持ちが近づいていくのを感じる2人だったが…。

【クレジット】			
監督	ステファヌ・ブリゼ	Stephane Brize	
製作	ミレーナ・ポワロ	Milena Poylo	
	ジル・サクト	Gilles Sacuto	
脚本	ステファヌ・ブリゼ	Stephane Brize	
	ジュリエット・サレ	Juliette Sales	
撮影	クロード・ガルニエ	Claude Garnier	
音楽	エドゥアルド・マカロフ	Eduardo Makaroff	
	クリストフ・H・ミュラー	Christoph H. Muller	
出演	パトリック・シェネ	Patrick Chesnais	ジャン＝クロード
	アンヌ・コンシニ	Anne Consigny	フランソワーズ
	ジョルジュ・ウィルソン	Georges Wilson	ジャン＝クロードの父
	リオネル・アベランスキ	Lionel Abelanski	ティエリー
	シリル・クトン	Cyril Couton	ジャン＝クロードの息子
	ジュヌヴィエーヴ・ムニシュ	Genevieve Mnich	